

KENWOOD

DRV-W630 DRV-630

スタンダード ドライブレコーダー

取扱説明書

ご購入いただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



もしものときは！！

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように
本機の電源をオフにして SD カードを取り出して
ください。(→ P.27)

本機に付属の SD カードを本機に挿入する前に「本機で使用する SD カードについて」を
お読みください。(→ P.14)

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

ご購入いただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情
報のほか、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員登録をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

安全上のご注意.....	4	フォルダ / ファイル構成について.....	51
使用上のご注意.....	10	パソコンツールを使う.....	52
本機の録画機能について.....	15	インストールする.....	52
機能1：常時録画（連続録画）.....	15	録画ファイルの再生.....	52
機能2：イベント記録.....	16	故障かな？と思ったら.....	53
機能3：駐車録画.....	17	FAQ（よくあるご質問）.....	57
機能4：写真撮影.....	18	主な仕様.....	58
各部の名称とはたらき.....	19	ソフトウェア.....	59
本機の取り付け / 配線.....	22	保証とアフターサービス.....	61
推奨取り付け位置.....	22		
ブラケットを取り付ける.....	23		
付属のシガープラグで接続する.....	24		
車載電源ケーブル CA-DR150			
（別売品）で接続する.....	25		
SD カードを挿入する / 取り出す.....	27		
無線 LAN を使う（DRV-W630 のみ）.....	28		
運転支援機能を使う.....	31		
運転支援機能について.....	31		
運転支援機能（使用上のご注意）.....	32		
カメラ位置とボンネット位置の調整.....	33		
駐車モードを使う.....	36		
LCD 表示時間の設定を変更する.....	39		
記録時間の設定を変更する.....	41		
録画ファイルを再生する.....	42		
SD カードをフォーマットする.....	44		
設定を変更する.....	45		
メニューを表示する.....	45		


本書のイラスト図は、DRV-W630で作成しています。DRV-G30では表示しない項目もあります。


安全上のご注意（必ずお守りください）

本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。


- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。


	危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
--	---


	警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
--	---

	注意 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
--	--

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
---	---------------------

	禁止（してはいけない）の内容です。
---	-------------------

	実行（かならず行っていただく）の内容です。
---	-----------------------

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

内蔵電池について

危険



本機(内蔵電池)の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

取り付けや配線について



警告



本機はDC12V/24V⊖アース車以外で使用しない
火災や故障の原因となります。DC12V/24V⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてはならない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な故障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。



コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品やSDカードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する
付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む
確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く
コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く
車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。
火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する
ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にて依頼してください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談するそのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたら使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

■ 使用上のご注意

- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機が応答しない場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の上面にあるリセットボタンを先端が細い爪楊枝等で押して電源を切ります。電源ボタンを2秒以上押し続けると本機の電源が再度オンになります。
- 本製品はあらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。
- LED 信号機には消滅の間隔を短くすることで対応していますが、撮影時の天候や時刻等の要因により点滅の間隔が変わります。また信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

■ 電源について

本機の動作電源電圧は DC5V です。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150（別売品）を取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造（バッテリーに直接つなぐ）などは絶対に行わないでください。

■ 起動時のご注意

本機は電源を入れて本機を起動したときに G センサーの補正を行います。そのため正しく使用できる状態に調整、取り付けを行ったあとに本機の電源を入れてください。

■ 衛星受信 について

- GPS は、GPS の性能について全責任を負う、米国政府によって運営されています。
- GLONASS はロシアが運用している衛星測位システムです。
- 衛星信号は、固体物質（ガラスを除く）を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物（例えば、樹木、高架橋または高層ビル）などの影響を受ける可能性があります。

■ 無線LANについて

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（証明を受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解 / 改造すること
 - 本機に表示されている認証表示（適合マーク及び認証番号）を消すこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 本機の周波数表示と意味は下記の通りです。

2.4 DS/OF 4

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
DS/OF : DS-SS、OFDM 変調方式を表します。
4 : 電波干渉距離は 40m です。

: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は車中 4 m です。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレーザーを設置すると電波を遮ってしまい、音声が入切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が入切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズが入ることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

■ 仕様

無線 LAN 規格	IEEE802.11b/g/n
セキュリティ	WEP、TKIP、AES、WPA、WPA2
周波数範囲	2400-24835MHz ISM band
最大データ転送速度	11Mbps (802.11b) 54Mbps (802.11g) 150Mbps (802.11n)
最大送信電力	18dBm (802.11b) 15dBm (802.11g) 14dBm (802.11n)

■ 無線LANのセキュリティについて

無線 LAN は電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能になるという利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。無線 LAN をご使用になる場合は、接続機器のセキュリティを設定してからお使いいただくことを推奨します。

本機能を使用したことでセキュリティ上の問題、損害が発生した場合、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ Bluetooth機器との電波障害について

無線 LAN をご使用になるときに Bluetooth 機器を近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度が低下したり、接続ができない場合があります。この場合は同時に使用しないでください。

- 本機で使用するSDカードについて
- 本機で使用できる SD カードは以下になります。

タイプ	microSDHC
容量	4GB～32GB
スピードクラス	Class 10 以上推奨
ファイルシステム	FAT32

本機には、microSDHC カード（16GB）を同梱しています。

- SD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。
- SD カードは消耗部品となります。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。

■ 当社推奨SDカード

ケンウッド製 microSDHC メモリーカード（別売品）

詳細は http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option をご覧ください。

■ SDカード使用上のご注意

- SD カードは約 2 週間を目安として定期的にフォーマットしてください。
- カメラなど、他の機器で SD カードのフォーマットを行うと、本機で正常に動作しません。必ず SD カードのフォーマット（初期化）は本機で行ってください。
- 本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、SD カードの仕様によって異なる場合があります。
- 分解や改造を行わないでください。
- SD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温高湿の場所には放置しないでください。
- SD カードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中に SD カードを取り出さないでください。
- SD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- 必要なファイルは必ずパソコンなどにバックアップ（コピー）をしてください。
- SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機の録画機能について

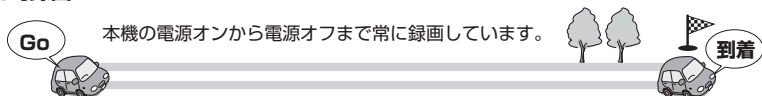
本機の録画機能は 4 つあります。

- 機能 1 常時録画（連続録画）
- 機能 2 イベント記録
- 機能 3 駐車録画
- 機能 4 写真撮影

機能 1：常時録画（連続録画）

走行中の映像を常に録画します

常時録画



エンジンキーをオンにすると本機の電源が入り、数秒後に自動的に常時録画（連続録画）が始まります。常時録画ではファイルを分割して保存しています。



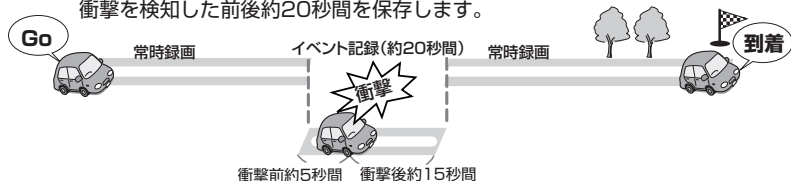
- 常時録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。（→ P.51）
- 録画ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。
- メニューの「録画設定」－「記録時間設定」で 1 ファイル毎の録画時間を設定できます。お買い上げ時は 3 分に設定されています。（→ P.48）

機能 2：イベント記録

走行中に衝撃を検知したら記録します

イベント記録

本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント（衝撃）記録に切り替わり、衝撃を検知した前後約20秒間を保存します。



常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録を手動で始動させたい場合は「イベント記録」ボタンを押します。イベント記録が完了すると常時録画（連続録画）に戻ります。

- イベント記録ファイルは「Event」フォルダに保存されます。(→ P.51)
- 録画ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。もしものときは必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように本機の電源をオフにしてSDカードを取り出してください。(→ P.27)
- イベント記録が終了する前にさらに衝撃を検知するとイベント記録が最大1分間延長されます。

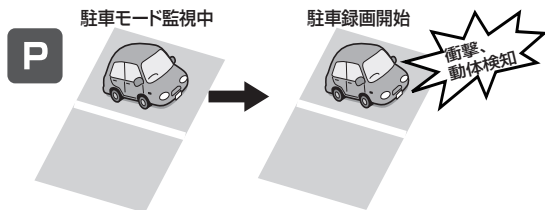
機能 3：駐車録画

駐車中に衝撃および動体を検知したら録画します

- 駐車録画機能を有効にするには車載電源ケーブル CA-DR150(別売品)が必要になります。
- 駐車録画機能を使うときは 36 ページの「駐車モードを使う」を参照して設定してください。

駐車録画

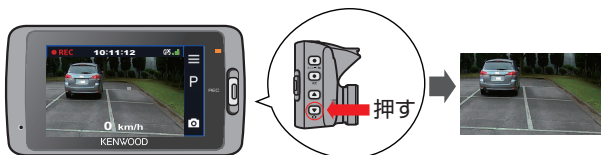
- 「自動起動設定」を「入りやすい」/「普通」/「入りにくい」のいずれかに設定すると約5分間車両に振動が加わらなかった場合に駐車モードの監視が始まります。
- 駐車モードでは車両の衝撃およびレンズ範囲内の動体を監視します。
- 監視中に車両への衝撃および動体を検知すると駐車録画を開始します。また、継続的に衝撃が加わった場合、常時録画に切り替わります。



- 駐車録画ファイルの録画時間は衝撃検知前後約 20 秒間（衝撃検知前 5 秒間、衝撃検知後 15 秒間）になります。
- 駐車録画ファイルは「Parking」フォルダに保存されます。（→ P.51）
- 録画ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。
- 駐車録画が終了する前にさらに衝撃または動体を検知すると駐車録画が最大 1 分間延長されます。
- ドアを閉めたときの振動を検知して駐車録画が開始することがあります。
- 監視方法についてはメニューの「駐車モード」－「検出方法設定」で設定できます。（→ P.46）

機能 4：写真撮影

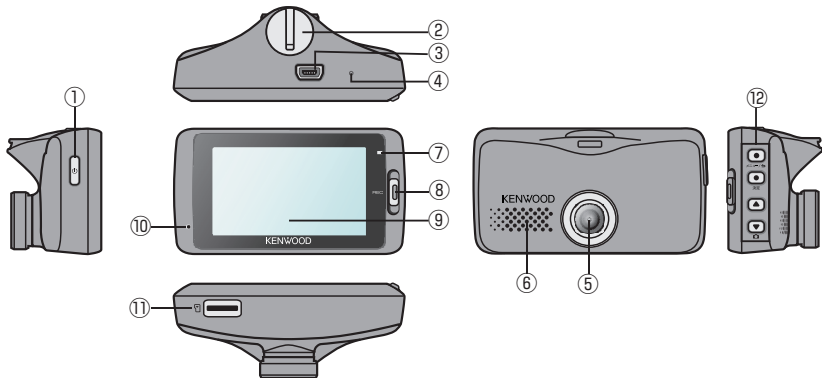
表示している映像を写真撮影します



- 写真は「Photo」フォルダに保存されます。(→ P.51)
- 写真は古いファイルから自動で上書きされます。
- 駐車録画中、メニュー表示中などカメラアイコンが表示されないときには写真を撮影することはできません。





各部の名称とはたらき

本機の基本的な操作方法と設定方法について記載しています。



- ① **電源ボタン** 2秒以上押し続けると電源オンになります。2秒以上押し続けると電源をオフします。電源オンのときに押すと、画面表示がオフになり、もう1度押すと画面表示がオンになります。
- ② **取付ブラケット挿入部**
- ③ **ミニ USB 端子 (DC5V) (→ P.24)**
付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 (別売品) を接続します。
USB ケーブル (市販品) を経由してパソコンとも接続することができます。
- ④ **リセットボタン** 本機をリセットします。
- ⑤ **カメラレンズ**
- ⑥ **スピーカー**

⑦ インジケーター

色	点灯 / 点滅	状態
 : 黄緑色	点灯	電源供給中 (メニュー表示 / 録画停止中)
 : 黄緑色 /  : 橙色	点滅 (交互)	電源供給中 (録画中)
 : 赤橙色	点灯	電源供給が切れて終了処理中

⑧ イベント記録ボタン

手動でイベント記録を開始 / 停止します。

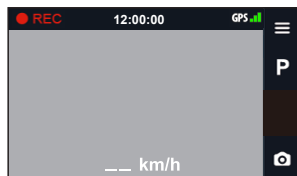
⑨ 液晶画面






⑩ **マイク** 録画中の音声を収録します。

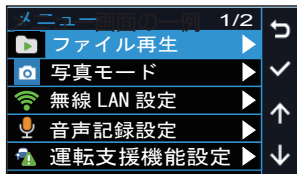
⑪ **SD スロット** SD カードを挿入します。







⑫ **操作ボタン** 4 つのボタンの機能を、画面に表示されるアイコンで表しています。
ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

録画画面の一例



-  : メニュー /  : メニューを表示します。
-  : 決定 : 手動で駐車モードを起動します。
駐車モード設定をオンにしたときのみアイコンが表示されます。
-  :  : 写真を撮影します。

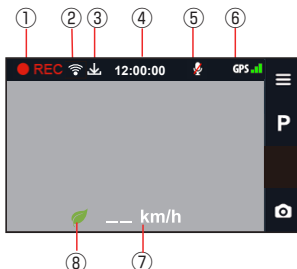


-  : メニュー /  : 一つ前の画面に戻ります。
-  : 決定 : 決定します。
-  : カーソルを上を移動します。
-  :  : カーソルを下を移動します。

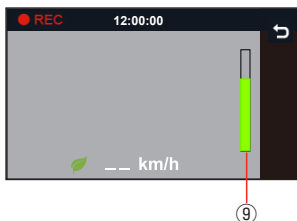
■ アイコン

本機の動作状態をアイコンで表示します。

< 常時録画画面 >



< 駐車録画画面 >



- ① 録画中に表示され点滅します。
- ② * 無線 LAN 設定が「オン」のときに表示します。

	本機と無線LAN設定機器との接続が完了して、専用アプリが起動し、データ転送が可能な状態
	本機と無線LAN設定機器との接続待ちの状態
	本機と無線LAN設定機器との接続が完了しているが専用アプリが立ち上がっていない状態

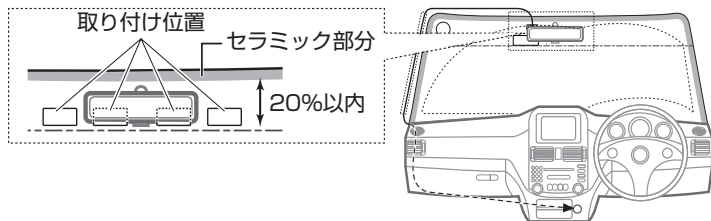
- ③ * : イベント記録があるときに表示します。
点灯：データあり / 点滅：データ転送中
- ④ 現在時刻を表示します。
- ⑤ 音声記録設定が「オフ」のときに表示します。
- ⑥ 衛星の受信状態（信号レベル：0-3）を4段階で表示します。
(アイコン： / / /)
- ⑦ 現在の速度を表示します。
- ⑧ 「運転支援機能設定」-「エコドライブ表示設定」が「オン」の場合、走行時のG値を検出して、3段階のエコ運転診断に応じてアイコンで表示します。(アイコン： / /)
- ⑨ 「駐車モード」-「検出方法設定」の「動作&衝撃検出」または、「動作検出」を選択した場合、検出レベルを表示します。検出レベルが高いほどアイコンの反応は大きくなります。

* DRV-W630 のみ

本機の取り付け / 配線

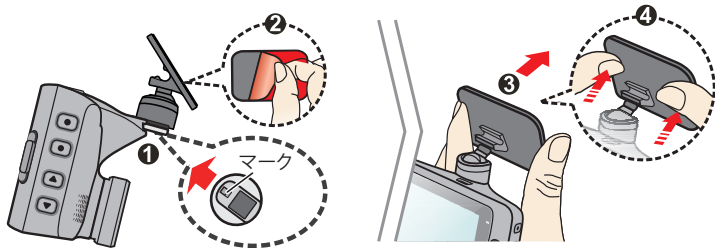
- フロントガラスの上部から 20%の範囲以内に取り付けてください。
- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベル等に重ならないよう注意して取り付けてください。
- 他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照ください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- きれいに録画するために、バックミラーの近くに本機を配置することをお勧めします。
- 車のフロントガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- 本機を取り付け後、車両電装品が正常に働くか、必ず動作確認を行ってください。
- 取り付け後、カメラレンズの保護シートを剥がしてください。
- コード類は運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。

推奨取り付け位置



ブラケットを取り付ける

- 1 車が水平な場所に駐車していることを確認する
- 2 設置する場所を市販のクリーニングクロスなどで汚れや脂分を取り除く
- 3 以下の手順に従って、本機を車内にしっかりと取り付ける
取り付ける前に大まかな角度調整を行ってから取り付けてください。

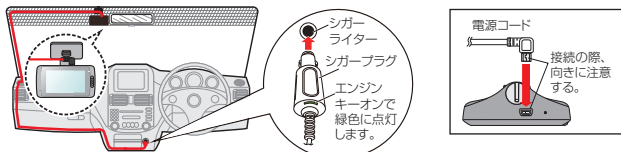


- ブラケットと本体の取り付け方向を間違えると、正しい角度で本機を取り付けることができません。上の図のようにマークがLCD画面側になるようにブラケットを本体に取り付けてください。
- 粘着テープの取付強度を強くするため、取付後 24 時間以上放置してから使用してください。

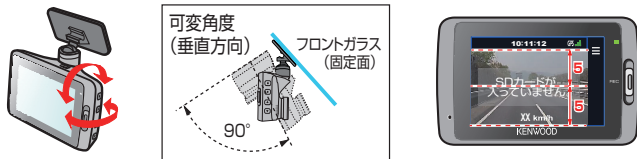
付属のシガープラグで接続する

1 付属のシガープラグをシガーライターに接続して本機に電源コードを接続し、配線する

- シガープラグには 12V から 5V に変換する回路が内蔵されています。シガープラグの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。



2 実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約 5 対 5 であることを確認する



3 カメラレンズの保護シートをはがす

4 電源を入れ直す (→ P.19)

- 角度調整が終了したら必ず電源を入れ直してください。また、電源をオンのままで本機を取付ブラケットから外したり、角度が変わってしまったときも電源がオンの状態で角度を調整し直して、電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

車載電源ケーブル CA-DR150（別売品）で接続する

- 接続をする前に車載電源ケーブル CA-DR150（別売品）に付属の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。

1 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を設定する

CA-DR150（別売品）に付属の取扱説明書を参照して、「スイッチ設定」を設定してください。

2 配線する

配線方法は 26 ページの「配線のしかた」をご参照ください。

アクセサリ電源がオンになっても電源電圧（12V/24V）を判定するため、本機への DC5V 供給は一定時間（約 20 秒前後）経過後開始されます。

3 取り付け角度を調整する（→ P.24）

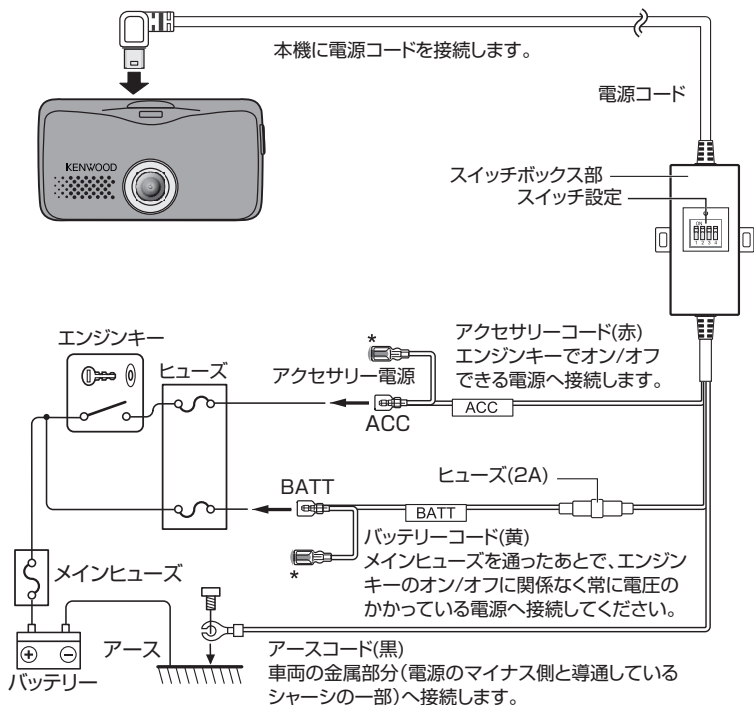
実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約 5 対 5 であることを確認してください。

4 カメラレンズの保護シートをはがす

5 電源を入れ直す（→ P.19）

- 角度調整が終了したら必ず電源を入れ直してください。また、電源をオンのままで本機を取付ブラケットから外したり、角度が変わってしまったときも電源がオンの状態で角度を調整し直して、電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

■ 配線のしかた



*アクセサリ/バッテリーコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

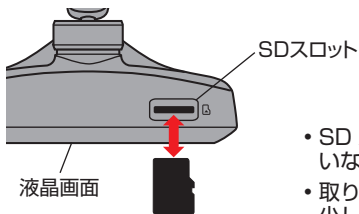
SD カードを挿入する / 取り出す

- SD カードを出し入れする場合は、データを壊さないよう SD カードと通信をしていないメニュー表示中や電源オフ中に行ってください。

1 「メニュー」 ボタンを押してメニューを表示する



2 SD カードを入れる / 取り出す



- SD カードが SD スロットに挿入されていないと正常に動作しません。
- 取り出す場合は SD カードを押して、少し飛び出したら引き抜きます。

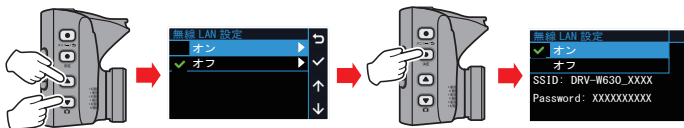
本機とスマートフォンを専用アプリ「DRV Link」を通して無線 LAN 接続することで、以下の機能が使えます。(iOS8.0 以上 / Android4.4 以上対応)

- 本機で撮影した動画および静止画のバックアップ
- イベント記録のスマートフォンへの自動転送
- Facebook や YouTube 等の SNS 上でアプリに取り込んだ動画と静止画を共有
- 「DRV Link」は、走行中に記録した映像を共有するためのローカルベースのソーシャルネットワーク統合アプリケーションです。
- 駐車モード中は無線 LAN 機能はオフになります。

1 メニューを表示して「無線 LAN 設定」を選ぶ



2 「オン」を選んで SSID, Password を確認する



- 本機の「録画設定」—「解像度設定」が「1080p」に設定されているときに無線 LAN 設定が有効になります。解像度が「1440p」に設定されている場合は、「無線 LAN は解像度設定が 1080 p のみ有効です。解像度を変更して無線 LAN 設定をオンにしますか?」と表示されるので、「決定」ボタンを押して SSID, Password を確認します。

- 3 専用アプリ「DRV Link」をスマートフォンにインストールする
詳細は http://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/drv_w630/ を
ご覧ください。

4 スマートフォンを本機の無線 LAN と接続する

操作 1) スマートフォンにインストールした「DRV Link」を起動します。画面
に従って本機とスマートフォンの無線 LAN 接続を行います。

操作 2) 本機の SSID : DRV-W630_XXXX (X : 4 桁の記号) を選択して、
パスワードを入力します。

- 操作 2 の接続選択後、ご使用の Android 機器によっては「接続先にインターネット
接続がありません」と表示されることがありますが、接続は完了していますので
◀ ボタンで一つ前の画面に戻り、そのままご使用ください。

操作 1



操作 2



接続操作完了



5 スマートフォンに本機の録画ファイルを転送（ダウンロード）する

ダウンロードしたい録画ファイルを画面から選択することでスマートフォンにダウンロードすることができます。

操作 1) スマートフォンの画面からダウンロードしたいフォルダを選択します。

操作 2) ダウンロードしたい録画ファイルを画面から選択します。

操作 3) 録画ファイルをタッチするとポップアップ画面が表示されるので「ダウンロード」を選択します。

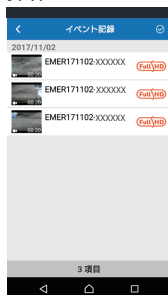
操作 4) 「録画停止」または「録画継続」を選択するとダウンロードが開始されます。

- 「録画停止」を選択するとダウンロード中の本機の録画は停止します。
「録画継続」を選択すると、ダウンロードしながら録画します。

操作 1



操作 2



操作 3






操作 4



運転支援機能を使う

運転支援機能について

- 運転支援機能を使用するには、各機能の設定を「オン」に変更する必要があります。(→ P.46)

機能 / 画面表示	機能説明
車線逸脱警告* 	走行中の車線を逸脱したときに警告音を鳴らし、画面にアイコンが表示されます。 動作条件は 60km/h 以上で走行中に動作します。速度が 60km/h 以下のとき、逆光、雨天、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく動作しません。
リフレッシュ通知* 	録画開始から設定した時間 (2 時間 / 3 時間 / 4 時間) になると音声で「長時間の運転が続いています。そろそろ休憩しませんか？」と通知して、画面にアイコンが表示されます。
エコドライブ表示設定 	走行中の加速 / 減速による G 値を検出して 3 段階でエコ運転を診断して、画面に 3 色の葉の形をしたアイコンが表示されます。 緑色 . . . エコドライブ状態 黄色 . . . 普通の走行状態 赤色 . . . 加速 / 減速が激しい場合
前方衝突警告* 	走行中に前方車両と約 5km/h 以上の速度差がある状態で接近した場合に警告音を鳴らして、画面にアイコンが表示されます。
発進遅れ警告* 	信号などで停車中に前方車両が発進して離れてしまったときに約 3 秒後に警告音を鳴らして、画面にアイコンが表示されます。 交差点などで先頭に停車した場合、前方を横切る人や車にも反応する場合があります。

* 警告音/音声の音量を調整したいときは「システム設定」の「音量設定」で調整してください。(→ P.49)

運転支援機能（使用上のご注意）

- 車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度、向きを必ず調整してください。また、カメラの位置がずれることで運転支援機能が正しく動作しません。調整後はカメラをしっかりと固定してください。
- ドライバーが運転中に調整することは絶対に行わないでください。安全な場所に停車して調整するか、同乗者が調整を行ってください。
- 運転支援機能は、ドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警報するものではありません。
- 運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って、正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音が鳴ります。
- 以下のような場合は、運転支援支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - 舗装の劣化や降雨時の反射、建物の影などにより車線が正しく認識できない場合。
 - 前方車両の形状や色、光の加減などによって認識できない場合。
 - 天候（雨・雪・濃霧など）、時間帯（朝方・夕方・夜間など）、逆光、交通状況（渋滞・歩行者など）による変化。
 - フロントガラスに映り込みがあると正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

カメラ位置とボンネット位置の調整

運転支援機能の「車線逸脱警告」、「前方衝突警告」、「発進遅れ警告」を使用する場合は、「カメラ位置調整」を設定する必要があります。

- 1 見通しの良い、平らで安全な場所に車を停車させる
- 2 メニューを表示して「運転支援機能設定」を選ぶ



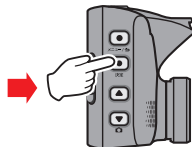
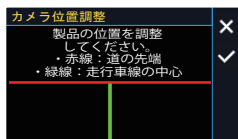
- 3 「カメラ位置調整」を選ぶ



4 カメラの位置を合わせる

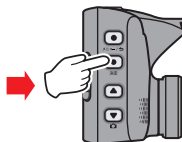
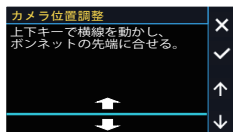
カメラを上下に傾けて、赤線を道の先端（地平線）に合わせます。

カメラを左右に動かして、緑線が走行車線の中心にくるように合わせて「決定」ボタンを押します。



5 ボンネットの位置を合わせる

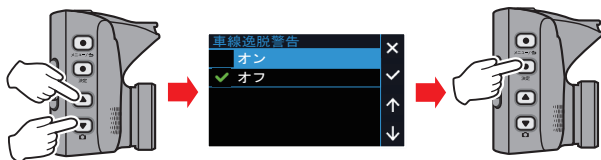
画面に表示されている青線がボンネットの先端に合うように、上下（「↑」/「↓」）キーで調整して「決定」ボタンを押します。ボンネットが見えない場合は、停車時に前方約3m先の路面に青線が合うように調整してください。



6 設定する運転支援機能を選ぶ



7 「オン」を選ぶ

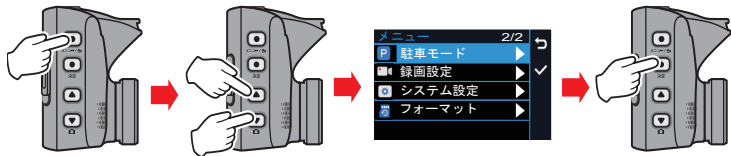


他の機能を設定する場合は、手順 6 と 7 を繰り返します。

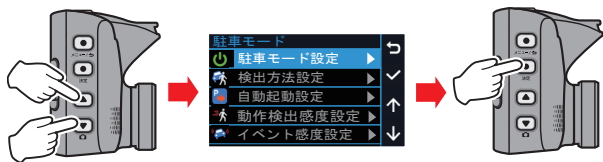
駐車モードを使う

- 駐車録画機能を有効にするには車載電源ケーブル CA-DR150(別売品) が必要になります。
- 駐車モードは電力消費を抑えるため、衛星受信を止めています。

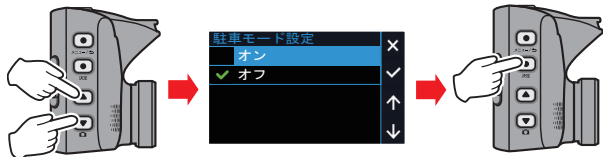
1 メニューを表示して「駐車モード」を選ぶ



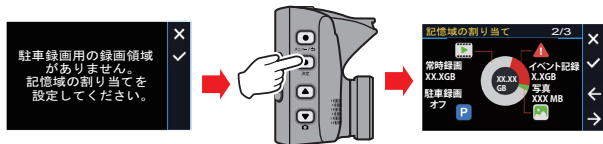
2 「駐車モード設定」を選ぶ



3 「オン」を選ぶ



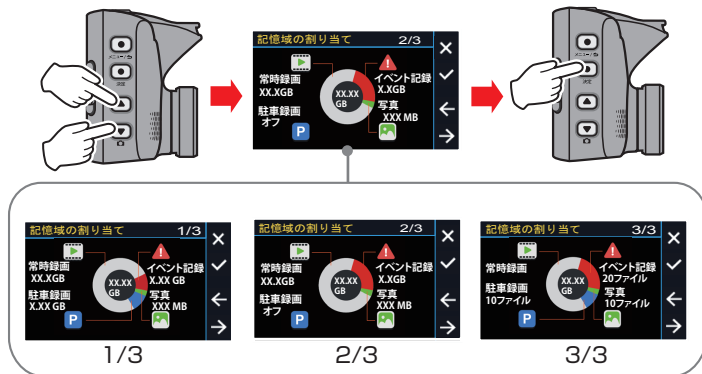
4 「決定」ボタンを押す



5 「記憶域の割り当て」を設定する

初期値は 2/3 に設定されています。駐車モードを使用するには 1/3 または 3/3 に設定してください。

- 割り当てを変更するには SD カードのフォーマットが必要です。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンに保存することをお勧めします。



記憶域の 割り当て	SD カード 容量	常時録画	イベント 記録	駐車録画	写真
1/3 容量で割り当て	8GB	約 35 分	約 5 分	約 5 分	約 100 枚
	16GB	約 70 分	約 10 分	約 10 分	約 200 枚
	32GB	約 140 分	約 20 分	約 20 分	約 400 枚
2/3 容量で割り当て (初期値設定)	8GB	約 35 分	約 10 分	0 分	約 100 枚
	16GB	約 70 分	約 20 分	0 分	約 200 枚
	32GB	約 140 分	約 40 分	0 分	約 400 枚
3/3 ファイル数で 割り当て	8GB	約 35 分*	20 ファイル	10 ファイル	10 ファイル
	16GB	約 70 分*	20 ファイル	10 ファイル	10 ファイル
	32GB	約 140 分*	20 ファイル	10 ファイル	10 ファイル

* 常時録画の記録可能時間は SD カードの残り容量で変わります。

- 録画は録画領域がなくなると古いファイルから上書きして録画を続けます。
- 記憶域の割り当ての設定変更は、メニューの「システム設定」－「記憶域の割り当て」から行います。割り当てを変更すると SD カード内の録画ファイルが消去されます。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンにバックアップすることをお勧めします。
- 写真の解像度は、メニューの「録画設定」－「解像度設定」で確認できます。
- 記録時間及び写真撮影枚数は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

6 「SD カードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか？」と表示されたら、「決定」ボタンを押す
フォーマットが開始され、駐車モードが「オン」に設定されます。

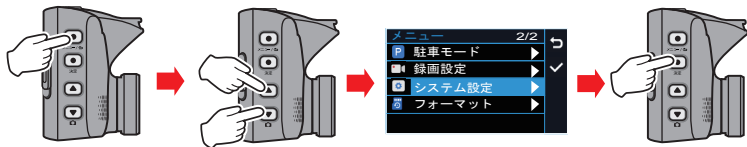
7 「LCD 表示時間設定」を変更する

「LCD 表示時間設定」が「常時表示」に設定されていると駐車モード中も本機の画面が点灯したままになります。画面をオフにしたい場合は「LCD 表示時間設定」を変更してください。(→ P.39)

LCD 表示時間の設定を変更する

- LCD 表示時間設定は「常時表示」、「情報表示」、「10 秒」、「1 分」、「3 分」の 5 つから選択できます。お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。
(→ P.49)
- 「常時表示」に設定すると駐車モード中も画面が点灯します。

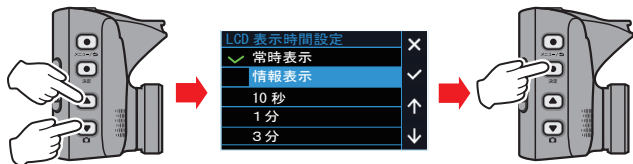
1 メニューを表示して「システム設定」を選ぶ



2 「LCD 表示時間設定」を選ぶ

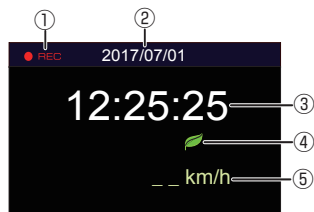


3 設定したい項目を選ぶ



情報表示画面

- 「情報表示」に設定した場合、常時録画は 10 秒後、イベント記録は記録完了後に「情報表示」画面に切り替わります。駐車モード中は 10 秒で画面が消えます。

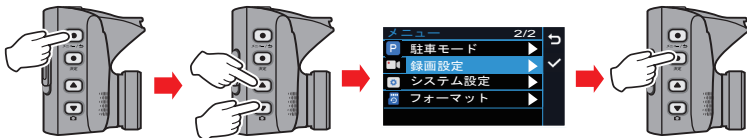


番号	アイコン	説明
①	REC(録画)	録画インジケータ(録画中)
②	年/月/日	カレンダーを表示します
③	時:分:秒	現在時刻を表示します
④	(緑色)	エコドライブ表示設定時アイコンを表示します(走行中の加速時/減速時のG値を検出してアイコンが切り替わります)
	(黄色)	
	(赤色)	
⑤	km/hまたはmph	現在の速度を表示します

記録時間の設定を変更する

- 常時録画の1ファイル毎の記録時間を設定します。

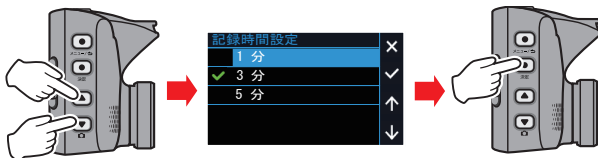
1 メニューを表示して「録画設定」を選ぶ



2 「記録時間設定」を選ぶ



3 設定したい時間を選ぶ



録画ファイルを再生する

- 本機で録画したファイルを本機で再生します。

1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



2 再生したいフォルダを選ぶ



3 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。

4 再生ファイルを操作する

再生中に「決定」ボタンを押すと再生メニューが表示されます。



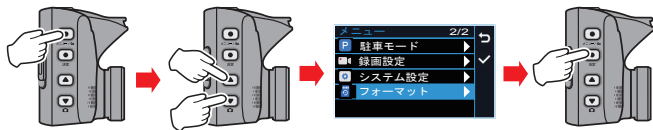
- 再生 / 一時停止：
「決定」ボタンを押すと表示中のファイルを再生 / 一時停止します。
◀ を押すと再生ファイルより新しいファイル、▶ を押すと再生ファイルより古いファイルに移動して再生を開始します。
◀ / ▶ を長押しすると、早戻し / 早送りができます。
- イベントフォルダへ移動：
「決定」ボタンを押すと表示中のファイルを「Event」フォルダに移動します。
- データ転送：(DRV-W630のみ)
スマートフォンにインストールされた専用アプリを使って、記録されたファイルを転送します。
接続されていない場合は、「無線 LAN 接続が出来なかったため転送できませんでした。」と表示されます。
- 削除：
「決定」ボタンを押すと「削除しますか?」と表示されます。もう一度「決定」ボタンを押すと表示中のファイルが削除されます。

SD カードをフォーマットする

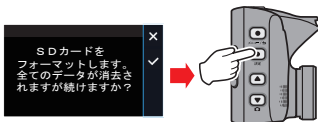
画面上に「SD カードのフォーマット推奨時期です。」のメッセージ*が出たら、必要な録画ファイルがある場合、パソコンなどに保存して SD カードをフォーマットしてください。

* メッセージは約 2 週間に一度表示されます。

1 メニューを表示して「フォーマット」を選ぶ



2 メッセージが表示されたら「決定」ボタンを押す

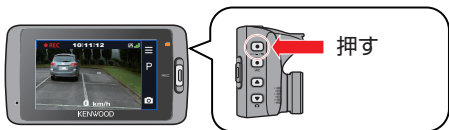


フォーマットしても SD カードエラーが表示し続ける場合は、新しい SD カードと交換してください。

設定を変更する

メニューを表示する

1 メニューボタンを押す



LCD 表示時間の設定により、「情報表示」画面の表示中または、画面が消灯している時は、「メニュー」ボタンを 2 回押してメニューを表示させます。

メニュー	項目	機能説明
ファイル再生	常時録画* イベント記録 駐車録画 写真	フォルダとファイルを選んで再生します。 ファイル再生中に、ファイルの移動や削除も行えます。(→ P.42)
写真モード	3M* 2M	「録画設定」の「解像度設定」に連動して自動的に切り替わります。 (3M : 1440p のとき / 2M : 1080p のとき)
無線 LAN 設定 (DRV-W630 のみ)	オン オフ*	無線 LAN 機能をオンにして SS ID/Password を表示します。駐車モード中は設定に関係なくオフ設定になります。(→ P.28) 車内の温度が 60℃ 以上になると、無線 LAN 機能は自動的に停止します。電源を入れ直すと復帰します。無線 LAN 機能は 60℃ 以下の環境で使用してください。


* お買い上げ時の設定

メニュー		項目	機能説明
音声記録設定		オン* オフ	録画時に音声を同時に記録する機能を設定します。
運転支援機能設定	カメラ位置調整	—	運転支援機能を正しく機能させるためにカメラ位置を調整します。(→ P.33)
	車線逸脱警告	オン オフ*	走行中の車線を逸脱したときに警告音と警告表示を出力する機能を設定します。
	リフレッシュ通知	2時間 3時間 4時間 オフ*	設定された時間毎に音声と表示(アイコン)で通知します。
	エコドライブ表示設定	オン オフ*	走行時のG値を検出して、3段階でエコ運転診断を行い、3色(緑色、黄色、赤色)のアイコンで表示する機能を設定します。
	前方衝突警告	オン オフ*	走行中、前方車両に接近したときに警告音と警告表示を出力する機能を設定します。
	発進遅れ警告	オン オフ*	停車時に前方車両が発進して離れてしまったときに警告音と警告表示を出力する機能を設定します。
駐車モード	駐車モード設定	オン オフ*	駐車モード機能を設定します。
	検出方法設定	動作&衝撃検出* 衝撃検出 動作検出	駐車モードの録画記録を開始する検出方法を設定します。 衝撃検出: 車両の衝撃を検出します。 動作検出: レンズ範囲内の動体を検出します。


* お買い上げ時の設定

メニュー		項目	機能説明
駐車 モード	自動起動 設定	入りやすい 普通* 入りにくい 手動	<p>駐車モードを自動で起動させるセンサー感度および常時録画に戻るときのセンサー感度を設定します。</p> <p>入りやすい：駐車モードが起動しやすいが、常時録画に戻りにくい 入りにくい：駐車モードが起動しにくい、常時録画に戻りやすい</p> <p>手動：手動で駐車モードを起動します。</p>  <p>手動で駐車モードを解除するには、 「メニュー/ ➡ 」ボタンを2回押すと解除できます。</p>
	動作検出 感度設定	低 普通* 高	<p>レンズ範囲内の人や車の動きなどを検出する感度を設定します。</p> <p>低（検出しにくい） ↔ 高（検出しやすい）</p>
	衝撃検出 感度設定	低 普通* 高	<p>駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度：「低」（G値：0.4G）～「高」（G値：0.2G）を設定します。</p> <p>低（検出しにくい） ↔ 高（検出しやすい）</p>

* お買い上げ時の設定

メニュー	項目	機能説明
録画設定	記録時間設定	1分 3分* 5分 常時録画（連続録画）に記録される1ファイル毎の録画時間を設定します。（→ P.15） イベント記録、駐車録画は録画時間の設定ができません。
	解像度設定	1080p 1440p* 常時録画、イベント記録、駐車録画、写真の画質を設定します。
	HDR	オン* オフ 明暗差が大きなシーンでも白トビや黒つぶれを軽減する機能を設定します。
	明るさ	-1..0*..1 記録される画像の露出（明るさ）レベルを設定します。
	イベント感度設定	 低 高 イベント記録の衝撃検出の感度：「低」（G値：3.0G）～「高」（G値：0.5G）を設定します。 低（検出しにくい）↔ 高（検出しやすい）
	情報記録設定	緯度 / 経度* Gセンサー値 録画ファイルに記録する情報（緯度 / 経度またはGセンサー値）を選択します。 記録された情報を削除することはできません。
	カスタム文字設定	— 映像の右下に記録される文字を設定できます。 文字数は最大で12文字です。 ▲ / ▼：カーソルが左右に一文字ずつ移動します。 ●（決定）：選択中の文字を入力文字として確定します。 「OK」を選んで「決定」ボタンを押して終了します。

* お買い上げ時の設定

メニュー	項目	機能説明	
システム 設定	衛星受信状態	衛星信号の受信状態を表示します。 衛星受信状態画面で「決定」ボタンを押すと「衛星設定」画面になります。「GPS」または「GLONASS」の衛星測位システムの選択ができます。初期設定は「GPS」に設定されています。	
	日付／時刻設定	自動（衛星データ）* 手動 「自動（衛星データ）」の場合は「タイムゾーン」が「GMT+09:00」に設定されています。そのままの設定でご使用ください。「手動」は日付と時間を手動で設定できます。「+」/「-」ボタンで数値を変更して「決定」ボタンで設定します。	
	操作音設定	オン* オフ	警告音および、ボタン操作時の操作音を出力する機能を設定します。
	音量設定		動画ファイルを再生するときの音量レベルを6段階で設定します。 警告音およびボタン操作時の操作音も変更されます。
	LCD 表示時間 設定	常時表示* 情報表示 10 秒 1 分 3 分	常時録画や駐車モード中の操作をしていないときに、画面表示がオフになるまでの時間を設定します。 画面表示をオンにするには、本機のボタンのいずれかを押します。 「情報表示」を選択すると、駐車モード中の画面表示はオフになります。(→ P.39)
	言語	English 日本語*	表示する言語を設定します。
	距離単位	メートル* マイル	距離／速度の単位を設定します。

* お買い上げ時の設定

メニュー		項目	機能説明
システム 設定	記憶域の 割り当て	1 / 3 2 / 3* 3 / 3	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真を 保存するための記憶領域を設定します。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、 パソコンなどに保存してから設定を変更してく ださい。 ※変更するとフォーマットされ、すべてのデー タが消去されます。
	初期値に戻す		メニュー内の設定を工場出荷時の状態に戻します。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存 してから操作してください。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
	バージョン		ファームウェアのバージョンを表示します。
フォーマット			SD カードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが消去されます。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存 してから操作してください。(→ P.44)

* お買い上げ時の設定

フォルダ / ファイル構成について

SD カードに録画したファイルは、項目ごとのフォルダにまとめられ、自動的に管理番号がファイルに付けられます。

- パソコンの設定環境によって正しく表示されないことがあります。

ルートフォルダ



Event
(イベント記録)

(→ P.16)

Parking
(駐車録画)

(→ P.17)

Photo
(写真)

(→ P.18)

Video
(常時録画)

(→ P.15)

DEVICE.XML
(システムファイル)

formtime.dat
(システムファイル)



フォルダ



ファイル

EMER *****-*****.MP4
EMER *****-*****.NMEA
PARK *****-*****.MP4
PARK *****-*****.NMEA
IMG *****-*****.JPG
FILE *****-*****.MP4
FILE *****-*****.NMEA

ファイル名には年・月・日・時・分・秒の順に自動的に付けられます。

*****-*****
↑ ↑ ↑ ↑ ↑
年月日 時分秒

パソコンツールを使う

KENWOOD ROUTE WATCHER II は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

インストールする

- ・ インストールをするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。

1 <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んでインストーラーをダウンロードする

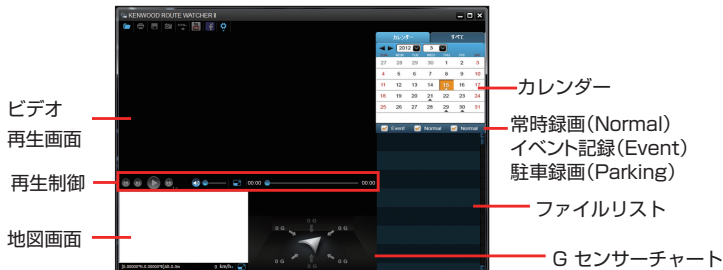
2 パソコンにインストールする

対応 OS : Microsoft Windows 7/8.1/10 32/64bit、
MAC OS X 10.7 以上)

録画ファイルの再生

1 SD カードを本機から取り出し、カードリーダー（市販品）を使用するか USB ケーブル（市販品）を経由して本機をパソコンに接続する

2 KENWOOD ROUTE WATCHER II を起動する



故障かな?と思ったら

■ 共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ シガープラグのインジ ケータが点灯していな い	本機に電源が供給さ れていない	シガープラグの差し込みと、本体の差し込み を確認してください。(→ P.24)
	ヒューズが切れてい る	ヒューズ(2A)と交換してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
	動作が不安定になっ ている	本体のリセットボタンを押してください。 (→ P.19) それでも改善しない場合は、 SDカードのフォーマットを行ってください (→ P.44)
SDカードが認識できな い	SDスロットにSDカ ードが入っていない	SDカードをSDスロットに挿入してくださ い。(→ P.27)
	本機で使用できない ファイルシステムで フォーマットされた SDカードが挿入さ れた	本機は、FAT32でフォーマットされたSD カードをご使用ください。(→ P.14)
	SDカードがフォー マットされていない	44ページの「SDカードをフォーマット する」を参照してフォーマットを行ってから ご使用ください。(→ P.44)
	SDカードの読み込 み/書き込みができ なくなっている	SDカードをフォーマットしてください。 (→ P.44) それでも症状が改善しない場 合は、SDカードを交換してください。
フォーマットしても SDカードエラーが 表示される		

■ 共通

症状	原因	対処方法
録画ファイルが見つからない	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから録画を開始してください。
録画されたファイルの画像が鮮明でない	レンズが汚れている	柔らかい布などで乾拭きしてください。

■ 駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 を使用していない	本機の駐車録画機能を有効にするには別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 が必要になります。CA-DR150 を接続してください。(→ P.25)
	接続された CA-DR150 のスイッチがオフになっている	CA-DR150 の取扱説明書を確認し、スイッチ設定を行ってください。
	駐車モードがオンになっていない	「駐車モード設定」で駐車モードをオンにしてください。(→ P.36)
	自動起動設定が手動に設定されている	「自動起動設定」を「手動」以外に設定するか、 <input checked="" type="radio"/> 「決定」 ボタンを押して駐車モードを手動で起動してください。(→ P.47)
	本機に記憶している取り付け位置情報が正しくないため、車両停止を検出できない。	正しい位置を記憶させるため、一度電源を入れ直してください。(→ P.19)

■ 駐車録画

症状	原因	対処方法
画面が点きっぱなしになっている	「LCD 表示時間設定」が「常時表示」に設定されている	「LCD 表示時間設定」を「常時表示」以外に設定してください。(→ P.39)
録画ファイルが見つからない	駐車録画から常時録画に切り替わった	駐車録画中衝撃を複数回検知した場合、常時録画に切り替わり、録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。「Video」フォルダを確認してください。(→ P.51)
別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 のタイマー設定時間より前に録画が終わっている	車両のバッテリーの電圧が別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 のバッテリー上がり防止設定値以下になった	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 のタイマー時間設定を短くするか、バッテリー上がり防止設定値を下げてください。最小値まで下げても症状が改善されない場合、車両バッテリーの電圧が設定値電圧より低い可能性があります。車両販売店にてバッテリーの電圧を確認してください。
駐車録画ファイルが自動転送されない (DRV-W630 のみ)	駐車録画中は省電力化のため、無線 LAN 機能は OFF になります	「ファイル再生」から転送したいファイルを選んでデータ転送を手動で行ってください。(→ P.43)
渋滞などの低速走行中、駐車モードが起動してしまう (録画ファイルが、「Parking」フォルダに記録されている)	自動起動設定を「入りやすい」に設定している	自動起動設定を「入りにくい」に設定してください。(→ P.47)
走行を開始しても駐車モードが解除されず、常時録画にならない	自動起動設定が「入りやすい」になっている	自動起動設定を「入りにくい」に設定してください。(→ P.47)

■ イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録の警告音が鳴り続けている	<ul style="list-style-type: none"> ・電源オン時の G センサーの補正値が正しく設定されていない ・急な坂道を走行している ・正しい位置に取り付ける前に電源をオンにした 	<ul style="list-style-type: none"> ・本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ / オンしてください。 ・平らな状態で電源を入れ直してください。 ・録画設定の「イベント感度設定」で衝撃検出の感度を下げてください。 (→ P.48)

■ 運転支援

症状	原因	対処方法
運転支援機能が正しく動作しない	調整がずれている	「運転支援機能を使う」にしたがって再設定してください。(→ P.31)
	雨の日や夜間に走行している	雨の日、夜間など、環境により正しく動作しないことがあります。
	衛星が受信できない	衛星が受信できていないと、速度や車間距離など正しく測位できないため、機能が正しく働きません。
リフレッシュ通知設定した時間になっても通知されない	メニュー表示など録画が中断されるとタイマーがリセットされません	録画が中断される操作はしないでください。

■ 時計

症状	原因	対処方法
時計がずれる	自動設定時、標準時間設定（タイムゾーン）がずれている	標準時間設定を正しく設定してください。 日本の「タイムゾーン」設定は、「GMT+09：00」です。（→ P.49）

■ ROUTE WATCHER II

症状	原因	対処方法
ROUTE WATCHER II が起動しない	管理者権限でのインストールをしていない	管理者権限でインストールしてご使用ください。（→ P.52）

FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。「故障かなと思ったら」と合わせてこちらをご覧ください。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



主な仕様

撮像素子

1/3 型 フルカラー CMOS

レンズ

F1.8 f=2.9mm 固定フォーカス

最大記録画角

水平：約 102° 垂直：約 58°

対角：約 115°

液晶サイズ

2.7 型 フルカラー TFT 液晶

無線 LAN 規格 (DRV-W630 のみ)

IEEE 802.11b/g/n

録画フォーマット

動画：H.264 (MP4)

静止画：JPEG 準拠 (2560x1440 /
1920x1080)

フレームレート

27.5fps

撮影画像

2560x1440 (約 368 万画素)

1920x1080 (約 208 万画素)

記録メディア

microSDHC カード Class 10 以上推奨
(4GB ~ 32GB)

USB シガープラグの電源電圧

入力：DC12V/24V

出力：DC5V/1A (最大)

本体電源電圧

DC5V (ミニ USB 端子)

(12/24V 車用 電圧変換シガープラグ付属)

消費電流 (最大)

575 mA(1A)

外形寸法 (W x H x D)

約 91mm x 約 49mm x 約 37mm

ブラケット取付時 (H) : 約 82mm

本体質量 microSDHC カード装着時

DRV-W630 : 約 107g

DRV-630 : 約 102g

(ブラケット/ケーブル含まず)

動作温度範囲

-10°C ~ +60°C

付属品

シガープラグコード (3.5m) x 1

取付ブラケット (両面テープ) x 1

microSDHC カード (16GB) x 1

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh, iMovie, Mac, Mac ロゴ は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Google マップ は、Google Inc. の商標または登録商標です。

この装置はクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

ソフトウェア

ソフトウェアについて

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。

各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

Konatu Font

Copyright (c) 2012 MASUDA mitiyo

適用ライセンス：MIT License

libupnp

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation

適用ライセンス：BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

lwip

Copyright (c) 2001, 2002 Swedish Institute of Computer Science.

適用ライセンス：Modified BSD

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

MIT License

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

- * Redistribution and use in source and binary
- * forms, with or without modification, are
- * permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * \begin{itemize}
- * \item Redistributions of source code must retain
- * the above copyright notice, this list of conditions
- * and the following disclaimer.
- * \item Redistributions in binary form must
- * reproduce the above copyright notice, this list
- * of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided
- * with the distribution.
- * \item Neither name of Intel Corporation nor the
- * names of its contributors may be used to
- * endorse or promote products derived from this
- * software without specific prior written
- * permission.
- * \end{itemize}

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT
* HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY
* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING,
* BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
* PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO
* EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE
* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED
* TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR
* SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
* BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED
* AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY
* OF SUCH DAMAGE.
*
*/

Modified BSD

* Redistribution and use in source and binary
* forms, with or without modification, are
* permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the
* above copyright notice, this list of conditions and
* the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce
* the above copyright notice, this list of conditions
* and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided
* with the distribution.
* 3. The name of the author may not be used to
* endorse or promote products derived from this
* software without specific prior written

* permission.

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR
* "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED
* WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
* AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR
* BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
* GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
* PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER
* CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
* WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
* TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY
* OF SUCH DAMAGE.

* This file is part of the lwIP TCP/IP stack.

* Author: Adam Dunkels <adam@sics.se>

*/

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

■ 保証について

保証書

この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日より1年です。

■ 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）

0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）

045-450-8950（一部IP電話など）/ FAX 045-450-2308

受付時間などは裏表紙を参照してください。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ P.53)または当社ホームページのFAQ(→ P.57)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

内蔵電池の交換について

電池の使用できる時間が短くなったと感じられるときは、内蔵電池の寿命です。交換をお勧めします。内蔵電池の交換は、販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

本機を廃棄するときのご注意



充電式電池のリサイクルについて

本機に内蔵されている充電電池は、リサイクルできます。

充電電池の取りはずしは、お客様自身では行わないでください。

本機を廃棄するとき、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

Li-ion 00

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb(ホームページ)からの
事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1ヵ月以内のご登録をお願い致します。



交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円

(一律)

JDRC **ドライブレコーダー協議会** 補償金制度担当
お問い合わせ ▶ e-mail : info@jdrc.gr.jp

内 容

補償金の範囲

- 1 ドライブレコーダーの再購入費用
- 2 SDカード再購入費用
- 3 ドライブレコーダーの撤去費用
- 4 ドライブレコーダーの再設置費用
- 5 交通事故証明書の発行費用
- 6 補償金申請に関する資料及び物品の送料
- 7 その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無 料 (費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。
(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故
(盗突された場合、車両が盗難された場合、
車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- 1 ドライブレコーダー本体
- 2 ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- 3 交通事故証明書(写しでも可)
- 4 レッカー搬送の証明書類
- 5 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- 6 補償金請求書



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜：9:30～18:00

土曜：9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。